

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法 電子公告により、当社ホームページ
 (http://www.advanced-media.co.jp/ir/)
 に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を
 することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

2018 AMI Report
第21期 年次報告書
2017.04.01 ~ 2018.03.31



昨日のありえないを、
明日のあたりまえに。

会社概要 (2018年3月31日現在)

会社名 株式会社アドバンスト・メディア
設立 1997年12月
資本金 49億7,309万円
取引銀行 三井住友銀行、みずほ銀行、他
所在地 本社 〒170-8630
 東京都豊島区東池袋3-1-4
 サンシャインシティ文化会館6階
 Tel:03-5958-1031 (代表)
 Fax:03-5958-1032
連結子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国)
 株式会社グラモ
 Glamo America, Inc. (米国)
 株式会社速記センターつくば
関連会社 True Voice Company Limited (タイ王国)
業務提携先 Multimodal Technologies, LLC. (米国)

人と機械が声でつながり、
話した言葉が情報としての価値を持つ。
「**AmiVoice®**」が実現するのは、
人と機械、人種や文化さえも超える、
まったく新しいコミュニケーションです。
誰も想像さえしなかった未来を、
明日のあたりまえとするために。
私たちアドバンスト・メディアの挑戦は、
続きます。



株式会社アドバンスト・メディア
証券コード：3773



連結業績概要

働き方改革の推進、労働力人口の減少等から、各企業における生産性向上・業務効率化への意識が高まりました。そのような背景のもと、当社のコア技術である「AI音声認識」(AIにより認識精度などが向上した音声認識: AmiVoice®) や「音声AI」(音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術: AmiAgent®) の利用が好調に推移いたしました。

売上高

●BSR1(第一の成長エンジン)は前期比34.1%増、BSR2(第二の成長エンジン)は前期比78.3%増、当社グループ全体では前期比42.7%増と、当初の目論見通り増収構造を作ることができました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は3,683百万円(前期は売上高2,581百万円)となりました。

損益

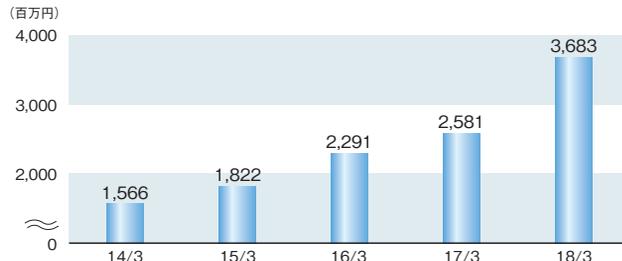
●売上高が大幅に伸長するとともに収益性の高いライセンス収入等により粗利益率が向上しました。その結果、BSR1(第一の成長エンジン)が前期比8.8倍と大幅な増益を実現し、BSR2(第二の成長エンジン)は計画通り前期比で赤字幅を縮小させ、当社グループ全体で黒字化し過去最高の営業利益を実現いたしました。

●経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益についても黒字となり、損益面においても、当初の目論見通り増益構造を作ることができました。

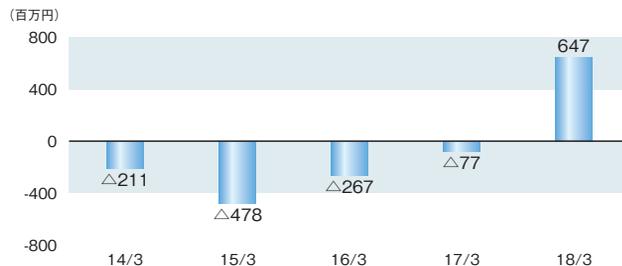
これらの結果、営業利益647百万円(前期は営業損失77百万円)、経常利益610百万円(前期は経常損失118百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は522百万円(前期は純損失103百万円)となりました。

財務ハイライト

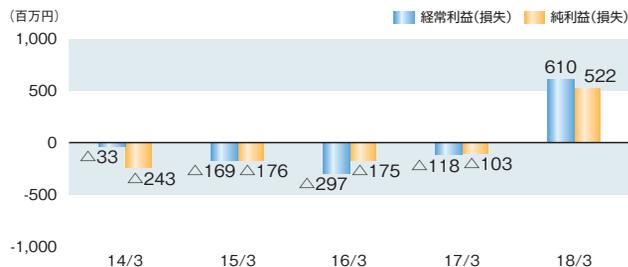
●連結売上高



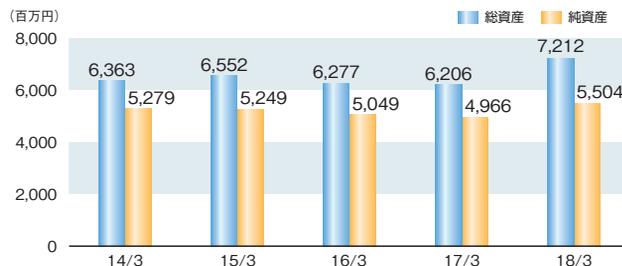
●連結営業利益(損失)



●連結経常利益(損失)・親会社株主に帰属する当期純利益(損失)



●連結総資産・純資産



株主・投資家の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第21期（2018年3月期）年次報告書をお届けいたします。
当社事業のご理解の一助となれば幸いです。

当社グループは、「既存コアビジネスのさらなる成長」をBSR1（第一の成長エンジン）、「新規ビジネスの創生・M&A・海外事業」をBSR2（第二の成長エンジン）と位置付けております。当連結会計年度においては、これらの音声認識ビジネスに人工知能などを付加し価値を増幅させたBSR（超音声認識）ビジネスに進化させていくことで、当社グループ全体での営業利益の黒字化を実現し、今後の継続的な増収増益を実現するスタートの期と位置付けておりました。

そのような中、働き方改革の推進、労働人口の減少等から、各企業における生産性向上・業務効率化への意識が高まりました。そのような背景のもと、当社のコア技術である「AI音声認識」（AIにより認識精度などが向上した音声認識：AmiVoice®）や「音声AI」（音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術：AmiAgent®）の利用が好調に推移いたしました。その結果、対前期比で、BSR1は売上高34.1%増、営業利益8.8倍の大幅な増益、BSR2は売上高78.3%増、営業利益では赤字幅を大幅に縮小し、当社グループ全体での営業利益の黒字化を実現し、増収増益のスタートを切ることができました。

今後につきましては、2020年3月期までをBSR導入期、2023年3月期までをBSR展開期、2026年3月期までをBSR拡大期とし、それぞれの3年間で売上高を2倍（年平均30%増）にしてまいります。したがって、BSR3年×3（導入期・展開期・拡大期）の9年間で、売上高8倍、営業利益率30%のビジネス構造の実現を目指してまいります。

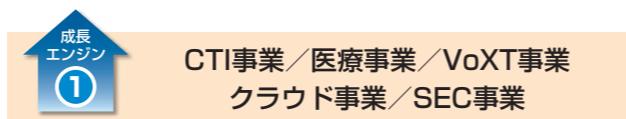
そのような目論見のもと、来期につきましては、働き方改革に代表される業務効率化に対する時代の要請をフォローの風として捉え、当社のコア技術である「AI音声認識」や「音声AI」の利用を、引き続き増大させてまいります。また、BSR1の増益に加えて、BSR2を黒字化させ当社グループ全体での増収増益を確実なものとしてまいります。

今後も当社グループ一丸となり、事業価値の増大による企業価値の向上に邁進してまいります。株主の皆様におかれましても、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

事業拡大の取り組み実績

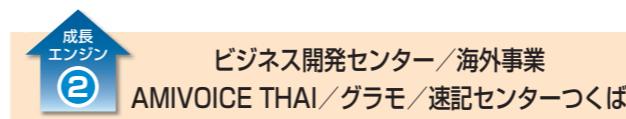
（BSR1）第一の成長エンジン



売上高 2,860百万円
前期比 34.1%増

営業利益 前期比8.8倍の
大幅な増益

（BSR2）第二の成長エンジン

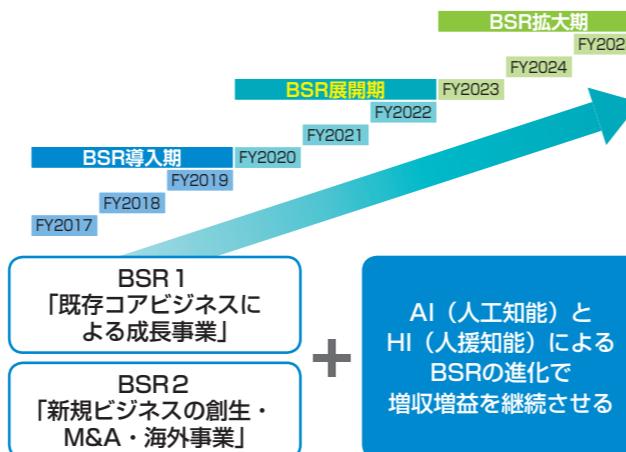


売上高 836百万円
前期比 78.3%増

営業利益 赤字幅を大幅に
縮小

当社グループ全体での営業利益の黒字化を実現し、
増収増益のスタートを切ることができた

BSR3×3



BSR3×3により売上高8倍、
営業利益率30%を目指す

2019年3月期連結業績予想

売上高4,000百万円
営業利益700百万円 注)

（金額の単位：百万円）

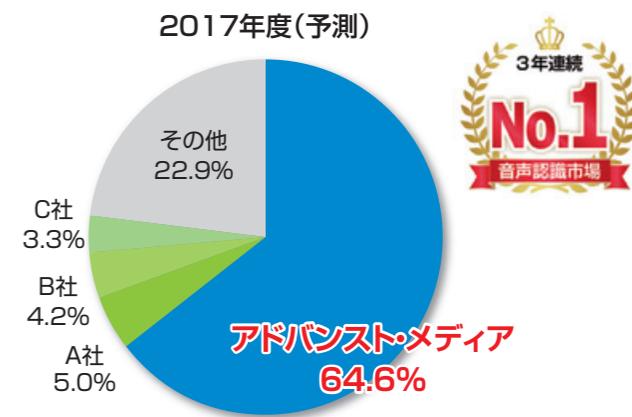
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想 数値	4,000	700	680	561	35.22円
（ご参考） 前期実績 （2018年 3月期）	3,683	647	610	522	32.79円

注) 今期計画について

- ・営業利益は、8億円を超える活動を目標とし最大11億円～最低は7億円
- ・売上高は、最大49億円～最低は40億円
- ・単体の間接コストについては、「AI音声認識」と「音声AI」の強化投資を増大させるが、前期比2億円増に抑える

音声認識市場のシェア

音声認識市場：ベンダー別売り上げ金額シェア



出典：ITR [ITR Market View：AI/RPA市場2017]

当社は、株式会社アイ・ティ・アールの発行する市場調査レポート「ITR Market View：AI/RPA市場2017」*において、音声認識市場ベンダー別売上金額シェア1位を3年連続で獲得いたしました。

当社は、1997年の創業より20年に渡り、音声認識技術AmiVoice®をコアとした、各種ソリューション・ソフトウェアを開発し、日本の音声認識市場を創造してきました。医療、コールセンター、議事録、製造・物流、モバイル、教育など、多数の領域特化型の音声認識エンジンを保有しており、幅広い業種・業界にて豊富な導入実績と活用ノウハウを有しています。これらの要因を背景に、音声認識市場シェア3年連続の1位獲得となりました。

※「ITR Market View：AI/RPA市場2017」音声認識市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2017年度予測）